

人づくりのお手伝いをします

対象は、道内の企業または団体において、製材・乾燥・木材加工等に関する業務に従事している方、または従事しようとしている方です。研修の内容としては、

製材のこ目立て技術 木材乾燥技術 木材加工技術
食用菌の栽培技術 その他、となっています。

技術研修(窓口：技術係)

- 申し込み 実施期間の1か月前まで
- 費用 無料

この技術研修の目的は、生産工場等で仕事に従事している人が必要とする基礎的な知識と技術を、体系的に習得してもらうことにあります。研修は効果を高めるため、マンツーマン方式で行っています。

なお、林産試験場の仕事の性格上、試験・研究業務と並行して取り組むことになるため、実施期間を変更させていただくことがありますので、ご承知願います。

研修項目と実施期間は次のとおりです。

- ・製材のこ目立て：1月上旬から3月下旬まで
- ・木材乾燥：第1回 5月上旬から1か月間
第2回 6月中旬 "
- ・木材加工：第1回 5月上旬 "
- 第2回 9月上旬 "
- ・食用菌の栽培：6月上旬から7月中旬まで
- ・その他の分野：研修内容および時期についてはご相談ください。

なお、受け入れ人数はいずれも若干名です。

利用者の声

北日本木材工業株式会社

取締役社長 堀内慎一郎氏

(北海道フローリング協同組合理事長)

林産試験場で技術研修を行っていることを伊藤性能部長(現、副場長)から聞きました。

生産現場ではこれまで、見よう見まねで機械や

器具を扱ってきており、理論的裏付けがあまりありませんでした。このため会社としては、次の4点をテーマとして、中堅どころの技術者を木材加工技術研修に参加させました。

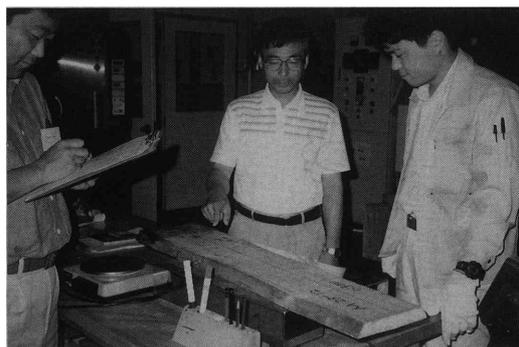
理論的に系統だった技術を学んでくる。

当社の工場しか知らないの、他の工場・施設などを知り見聞を広めさせる。

他社の人と研修が一緒だった場合、意見交換ができるのでお互いの工場の良いところを共に吸収し、悪いところは改善のヒントを獲得させる。

技術の後継者になってもらうとともに、広い視野に立った新しい感覚を身につけてもらう。

最初に技術研修に参加した従業員から、「研修はたいへん役立った。特に木材の加工や刃物の研磨は勉強になった」との感想があり、このため翌年にも別の技術者を参加させました。やはり同じ感想をもっていたので、3年続けて参加させるこ



技術研修

とにしました。業界の景気が厳しい状況にあり、また、研修時期も限られているので、難しい面もありますが、これからも機会があれば参加させたいと考えています。

研修生の声

近藤木材株式会社

渡辺典男氏（木材乾燥：平成5年度）

今回の研修により、木材乾燥の必要性、重要性ならびに難しさを認識することができました。特に難しさという点では、樹種の違いや、また、同じ樹種であっても生育状況の違いによって乾燥条件を変えなければならないなど、デリケートな面を知ることができました。

最大の成果は、損傷させずに乾燥することが難しい材料であっても、臨機応変に乾燥スケジュールを変えることによって、損傷を減少させられることが分かったことです。

（社）北海道林産物検査会

南田英樹氏（木材乾燥：平成7年度）

木材乾燥で大切なことは、材料の損傷を最小限にして目標とする含水率にすることです。このためには木材の組織構造を考えたうえで、温度と湿度の関係、それに風速を加えて適した雰囲気の設定が必要があること、などが理解でき、今後の業務に役立てたいと思います。

江野木材工業株式会社

江野英嗣氏（木材加工：平成5年度）

木材の性質、機械加工、集成材製造、性能評価についての研修を受け、家具・建具等を含めた「木材加工」の概観、奥の深さ、課題等が把握できました。木材の本来の性質からくる加工用機械の取扱い、刃物の据え付け方、木材切削、接着技

術等、製材業にはない多くのことを得ることができました。

要望としましては、どのテーマについても原価計算、コスト把握というものが企業の関心事です。この点についてテーマごとにモデルケースのようなものをレクチャーしていただければ幸いです。

厚岸町在住

竹本好廣氏（食用菌の栽培：平成7年度）

地元の菌床シイタケ栽培業者や林業指導事務所に相談したり、種菌メーカーから資料を取り寄せたりしましたが、実務体験が必要と痛感し技術研修に応募しました。

研修の成果としては、キノコについての講義や種菌の作成方法およびシイタケ菌床栽培の実技指導を受け、自ら実践できたことが貴重な体験となり、おかげさまでシイタケ菌床栽培の手がかりをつかむことができました。

草野木材株式会社

岩崎和寿氏（製材のご目立て：平成6年度）

帯のご目立て作業は、材料となる帯鋼の切断から始まり、溶接、歯抜き、のご身調整、アサリ出し、のご歯研削など多岐にわたります。

目立て作業に関しては、全くの初心者である私にとっては、目立て作業で最も熟練を要する水平仕上げ、背盛り、腰入れ作業が大きな壁となり、研修期間の大半を費やす結果となりました。しかし、研修の最後に自分自身で作上げた帯のごで試験挽きした結果、担当者の方から「挽き曲がりもなく挽き肌も上々だね」と言われたときは本当にうれしかったものです。今後もこの研修の経験を生かして良いのご作りに励みたいと思います。